

第 19 回 経営協議会議事録

日 時 平成 19 年 4 月 19 日(木) 10:00～12:15
場 所 本部棟大会議室
出席者 鈴木学長，長澤理事，高橋理事，湯口事務局長，西村獣医学科長，小澤委員，
垣内委員，金川委員，豊田委員，渡辺委員
欠席者 土谷畜産科学科長，砂川委員
陪席者 石橋理事，貝沼監事，竹川監事，高橋学長特任補佐，伊藤学長特任補佐，
五十嵐学長特任補佐，牧野学長特任補佐

議事に先立ち，議長から，3 月 15 日開催の第 18 回経営協議会議事録については，案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ，特に修正箇所がないことから，原案どおり確定したい旨諮られ，承認した。

また，議事の進行について，方針審議を報告事項の後に変更したい旨諮られ，承認した。

議 題

1) 帯広畜産大学学則の一部改正について

議長から発議のあと，長澤理事から，検定料の徴収方法を入学願書に添えて郵便為替を提出する方法から，郵便局に新たに設ける専用口座に振り込む方法に変更することに伴う所要の改正である旨説明があった。

次に，総務課長から，資料 1 に基づき改正内容の説明があった。

審議の結果，原案どおり承認した。

報告事項

1) 教員の選考について

石橋理事から，資料 3 に基づき，前回の経営協議会(平成 19 年 3 月 15 日開催)以降，教育研究評議会において承認された 1 件の教員の選考について，報告があった。

なお，石橋理事から，助教の採用人事について今回は初めてであったが，今後，助教の採用基準の明文化について検討したい旨発言があった。

2) 平成 18 年度大学の主な活動状況について

長澤理事から，追加資料に基づき，中期目標期間における事業展開の方針について説明があり，引き続き，資料 4 に基づき，平成 18 年度における大学の主な活動状況について，報告があった。

3) 平成 18 年度中期目標・計画のうち最重要戦略課題とその検討結果について

長澤理事から、資料 5 に基づき、平成 18 年度中期目標・計画における最重要戦略課題等の検討結果について、報告があった。

4) 平成 19 年度中期目標・計画のうち重要戦略課題とその検討状況について

長澤理事から、資料 6 に基づき、平成 19 年度中期目標・計画における重要戦略課題の検討状況について報告があった。

5) 認証評価の実施時期について

長澤理事から、資料 7 に基づき、独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価の実施時期を、業務過重を避けるため、平成 20 年度から平成 22 年度に変更することを企画評価室において承認した旨報告があった。

6) 平成 18 年度卒業・修了者の進路状況について

石橋理事から、資料 8 に基づき、平成 18 年度卒業・修了者の進路状況について、報告があった。

7) 平成 19 年度入学者数について

石橋理事から、資料 9 に基づき、平成 19 年度入学者数について報告があった。

方針審議

1) 平成 20 年度概算要求事項の選定について

議長から発議のあと、長澤理事から、資料 2 及び追加資料に基づき、平成 19 年度の採択状況及び平成 20 年度概算要求事項案について説明があった。

構成員から、以下のような発言があった。

- ・ ロケーションを考えると、日高や道東地域を含め、野生動物の生態調査等を行い、自然環境の保護についての拠点形成されてはどうか。
- ・ 人獣共通感染症を根本から解決するための長期計画を立て、帯広畜産大学がその中心となっていってはどうか。
- ・ キャンパスの安全整備に関する事項を考えてはどうか。
- ・ 現在、輸入飼料及び肥料・農薬の高騰が恒常化している。そのため、今後、自給飼料体制の整備や少ない肥料での地力維持等について、地元と連携して研究できれば良いのではないか。
- ・ 十勝という最大の畑作地帯にある本学は、植物・作物の研究にもっと力を入れてもいいのではないか。

- ・ 獣医と畜産，動物と植物等の違う研究分野の連携融合は，大きな総合大学では難しい。本学の特徴を生かすような切り口で考えてはどうか。
- ・ 世界の先駆者となる領域を作り，強い分野を確固たるものにしていくべきではないか。

議長から，本日の意見を踏まえて検討し，次回以降の役員会等で審議する旨発言があった。

議長から，次回の第20回経営協議会は，6月21日(木)10時から，本部棟大会議室において開催する予定である旨の発言があった。

以 上